

- 栽培管理システムやドローンから得られたセンシングデータを農作業を受託する周辺の農業者と共有し、生育データに基づく可変施肥や可変播種を行う。
- データに基づく栽培管理により、単収の向上や資材コストの低減を図る。

経営上の課題

- ・地域内で高齢化が進み、規模拡大が急速に進む中、地域の担い手として、周辺の農家の農地の受け入れや作業受託に取り組んでいる。

限られた労力で経営を安定するため、データに基づく栽培管理の適正化により、単収の向上や資材コストの低減が急務となっている

申請者：

株式会社かみむら農場（北海道鹿追町）

対象品目：

小麦、大豆、小豆

スマート農業技術：

栽培管理システムによるリモートセンシングデータ及びドローンセンシングデータの活用

新たな生産方式：

栽培管理システムから得られたデータの共有・分析

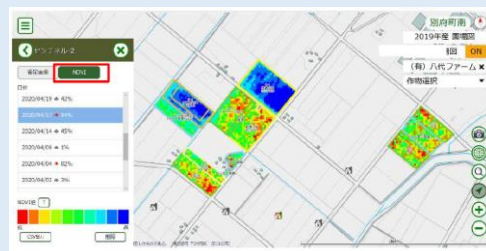
活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

栽培管理システム



センシングドローン



栽培管理システムによる生育状況等のデータを活用

新たな生産方式

データの共有・分析



周辺の農業者と生育データ等を共有し、データに基づく可変施肥や可変播種を行う。